

京大発イノベーションを探る@健都

“光と音響”は ケロイドの診断を変える

— ケロイド再発の兆候を三次元で可視化する光超音波イメージング —

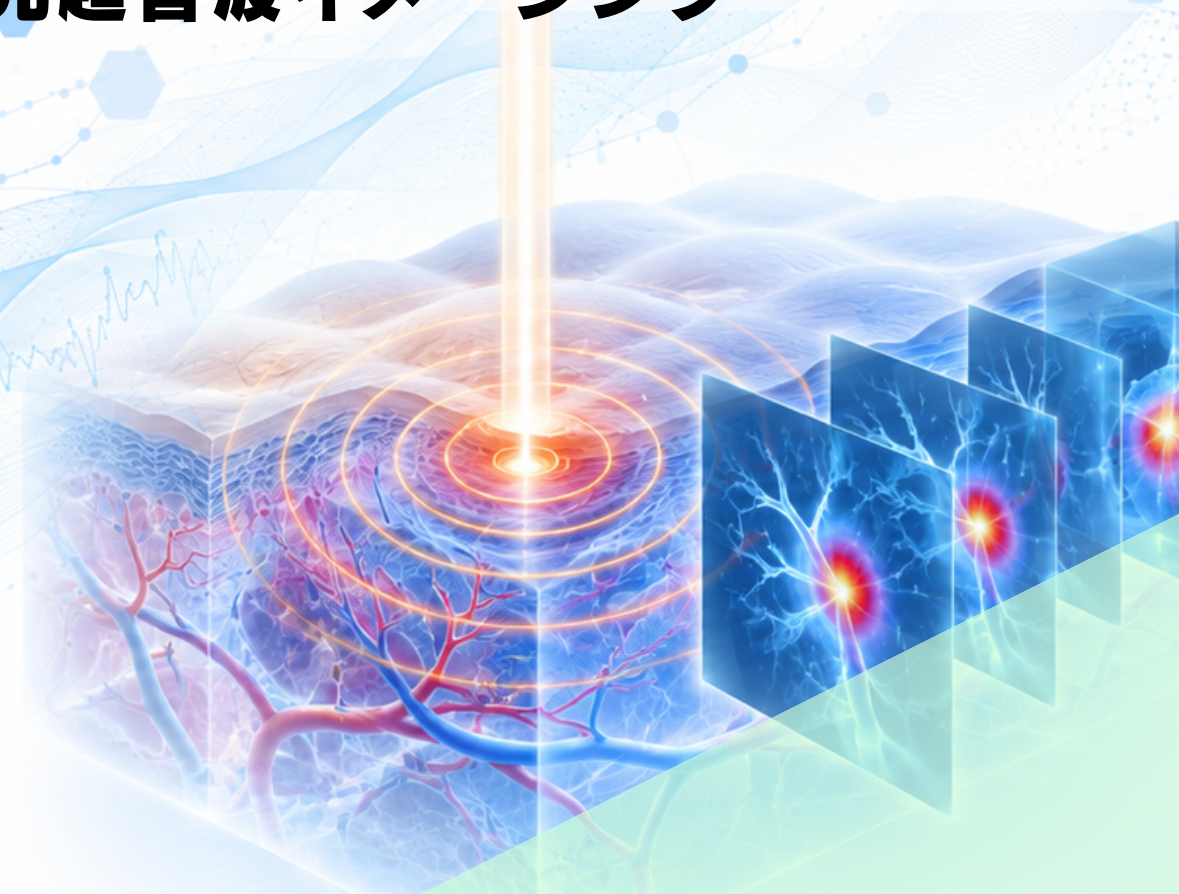
ケロイドは、強いかゆみや痛みを伴う難治性皮膚疾患の一つです。

標準的な治療であるステロイド局所注射を行っても再発率は高く、再発の発見が遅れると病変の拡大や、患者へのさらなる負担につながることで課題とされています。

京都大学等の研究グループは、血管を体にやさしく描き出す「光超音波イメージング」を用い、ケロイドの再発に先立って高酸素化した微小血管が生じることを明らかにしました。これにより、従来は予測が難しかった再発の兆候を、三次元的に可視化できる可能性が示されています。

本イベントでは、本研究開発に取り組まれた臨床研究者と、光超音波イメージング技術の社会実装に取り組む医療用画像診断装置メーカー代表をお迎えし、臨床現場の課題、光音響・光超音波イメージング技術の特徴、そして医療機器・ヘルスケア領域における事業化の可能性まで、研究者と企業、それぞれの視点からお話いただきます。

研究成果がどのように医療現場に届き、患者さんの負担軽減や新たな診断技術につながっていくのか。京大発の研究シーズとスタートアップの挑戦から、未来の医療の姿を考える機会となっておりますので、是非ご参加ください。



2026 11.12 木 17:00-19:00

オンライン参加の方は17:00-18:30
● 後日のアーカイブ動画配信も予定

登壇者



京都大学医学部附属病院 非常勤医師
兼 公益財団法人田附興風会 医学研究所
北野病院 形成外科 主任部長

齊藤 晋 氏

医師・博士。京都大学大学院医学研究科
形成外科で助教、講師、准教授を歴任。
現在は北野病院 形成外科主任部長として、
形成外科領域の診療・研究・人材育成に
取り組む。ケロイドなどの難治性皮膚疾患を
対象に、光超音波イメージングによる血管構造・
酸素化状態の可視化を進め、再発兆候を体に
やさしく把握する新たな診断技術の可能性を
示している。



株式会社Luxonus 代表取締役

相磯 貞和 氏

医師・博士。慶應義塾大学医学部卒業。
都立広尾病院内科、慶應義塾大学医学部
内科、スタンフォード大学医学部微生物
学教室、慶應義塾大学医学部解剖学教授
などを経て、株式会社LUXONUS代表取締
役に就任。同社では、光超音波技術を
応用した新しい画像撮影装置の製品開発
に取り組んでおり、光と超音波を組み合
わせた画像化技術の医療・ヘルスケア分
野への社会実装を進めている。

対 象

- ・イノベーション創出を目指すベンチャーや研究開発に関わる方
- ・医療機器、ヘルスケア、画像診断、センシング技術に関心をお持ちの方
- ・大学発スタートアップや研究成果の社会実装に関心をお持ちの方
- ・皮膚疾患、形成外科領域、患者負担の少ない診断技術に関心をお持ちの方

現地会場

ハイブリッド開催

オンライン会場

ク ラスターラウンジ
「Co・Lusterlounge」(定員15名)

健都イノベーションパークJ.NODE Lab健都
大阪府摂津市千里丘新町3-17 (JR京都線 岸辺駅 徒歩7分)

Zoomウェビナー (定員200名)

参加費

無料 **事前申込要**

- ・オンライン参加の方は17:00~18:30のみ
- ・申込者には後日アーカイブ動画を配信予定

詳細・申込

https://lp.krp.co.jp/tkl_event_input_20261112.html

スケジュール

(予定)

<トークセッション> 90分

- ・開会説明 (5分)
- ・プレゼンテーション+ディスカッション・Q&A
※終了後、オンライン閉会

<交流会> 30分 ※現地参加の方のみ



主 催

JR西日本不動産マネジメント株式会社
京都リサーチパーク株式会社／京大オリジナル株式会社

共 催

京都大学成長戦略本部

お問合せ

京都リサーチパーク株式会社イノベーションデザイン部
E-mail: tkl-id@krp.co.jp